

トラック輸送情報（平成23年11月分）

平成24年2月8日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報政策課 交通統計室

担当：中倉 内線28721

直通：03-5253-8347

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

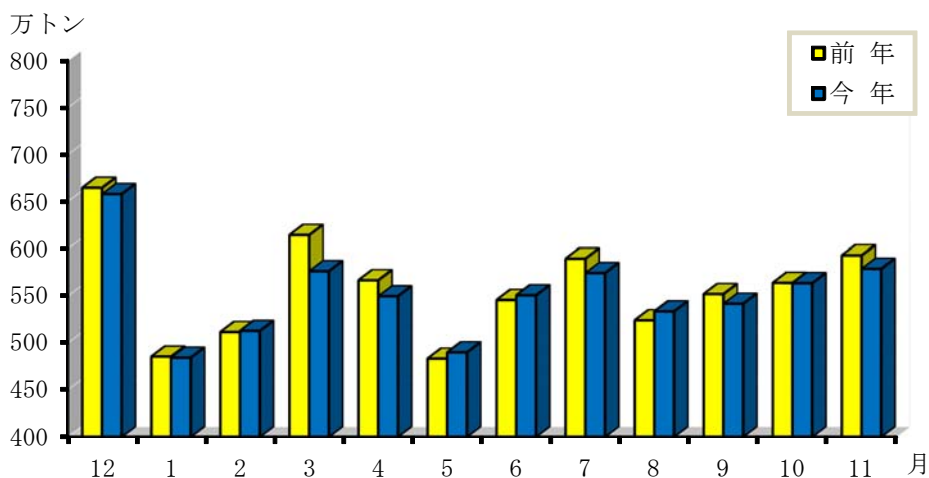
1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

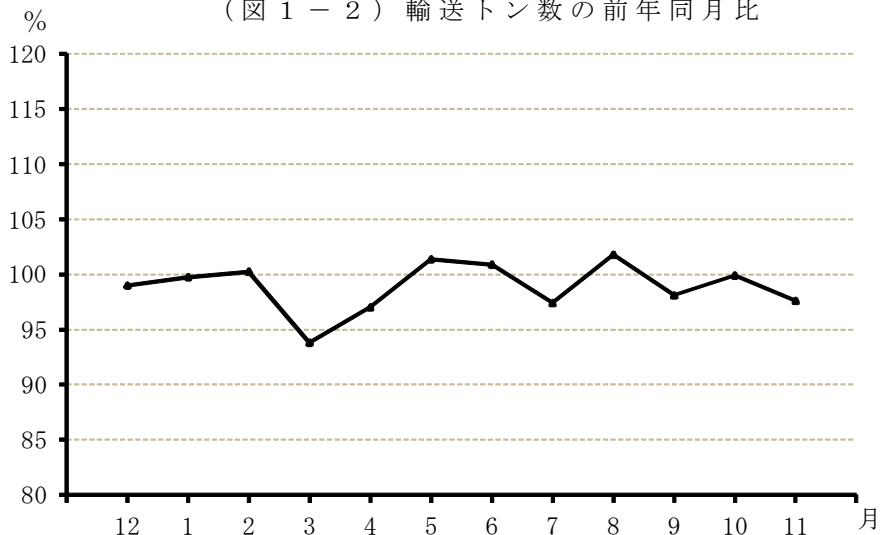
調査対象26社の本月の輸送量は、5,792,068トンで、前月と比べ総輸送量が約15万トン増加したため、前月比102.7%（季節調整済み100.7%）となり、前年同月との比較では、約14万トン減少したため、前年同月比97.6%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

なお、平均稼働日数は22.4日で、前月と比べ0.5日減少し、前年同月との比較では、1.1日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、258,574トンで、前月と比べ約12千トン増加したため、前月比105.0%となり、前年同月との比較では、約6千トン増加したため、前年同月比102.5%の実績であった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



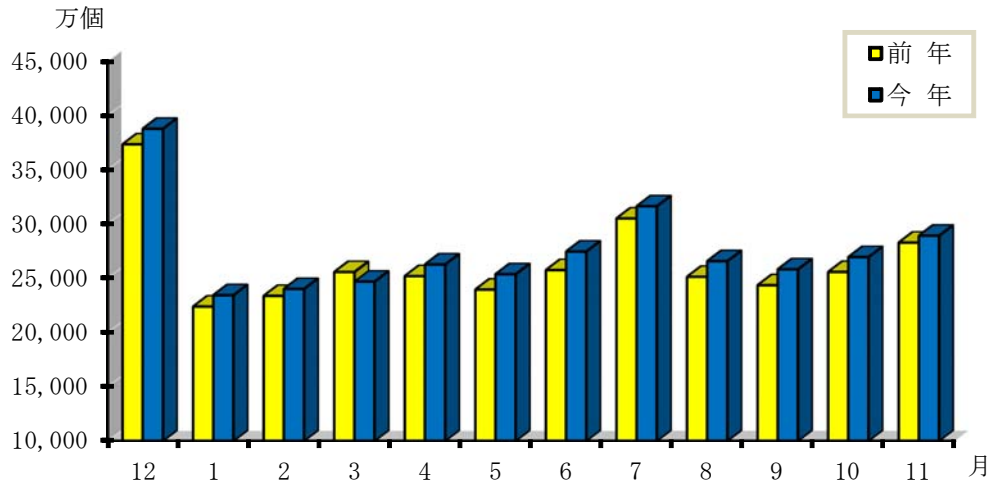
(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



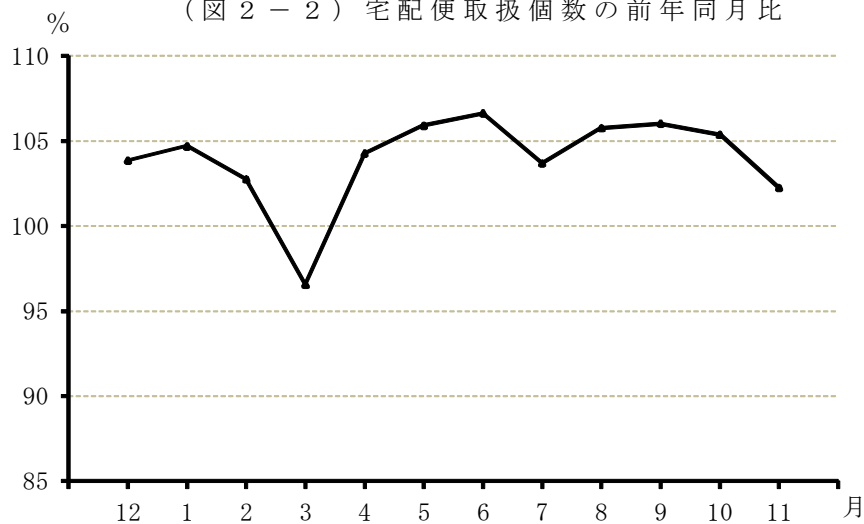
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、289,295 千個で、前月と比べ 約 1,969 万個増加したため、前月比 107.3% (季節調整済み 99.5%) となり、前年同月との比較では、約 633 万個増加したため、前年同月比 102.2% の実績であった。(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社(26 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社)の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、「食料工業品」及び「日用品」で輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増及び倉庫から出る貨物増で、「食料工業品」の主な増加地域は東北、関東、中部、近畿地方、中国、「日用品」の主な増加地域は東北、神奈川、全国であった。

前年同月と比べると、倉庫から出る貨物減が「食料工業品」、商社・問屋からの貨物減が「日用品」、また、宅配便と百貨店配送品の減少も見られた。主な減少地域は、関東、全国であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品		4	10	1	3	8		
	金属製品		1	20			4		
	機 械		4	13	3	1			
	化学工業品		2	18	2				
	繊維工業品		2	18	2				
	食料工業品	1	7	11	1	製造食品	大阪、近畿	4, 7	
	日 用 品		8	13	1	その他の日用品	東北、関東、中部、近畿地方、中国	4, 7	
	そ の 他	1	4	12	3	1	宅配便 その他(百貨店配送品)	全国 関東	8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	3	11	3				
	金属製品		4	15	2		北陸信越		
	機 械		3	13	4	1			
	化学工業品		2	17	3				
	繊維工業品		2	16	4		神奈川		
	食料工業品		3	12	5	製造食品	関東	7	
	日 用 品	1	2	14	4	1	衣服	全国	5
	そ の 他		4	10	4	3	宅配便、その他(百貨店配送品)	関東、中国、全国	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者 787 社/調査対象事業者数 1,046 社)の輸送量は、前月比 100.1%、前年同月比 102.5%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	102.5 %	108.0 %	101.1 %	98.4 %	108.3 %	97.7 %	95.5 %	101.9 %	98.3 %	102.7 %	100.3 %	
前 月 比	100.1 %	98.8 %	98.8 %	101.2 %	99.4 %	98.9 %	101.3 %	100.7 %	102.3 %	102.6 %	102.3 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況 (各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比98.8%、対前年同月比108.0%であった。品目別では、季節的需要増等により「その他の石油製品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。また、工場・生産地からの需要増等により「その他の農産品」が、建設関係の需要増等により「その他の窯業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減等により「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。また、季節的需要減等により「穀物」、「水産品」、「動植物性飼・肥料」が、輸出入貨物の減等により「石炭」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比98.8%、対前年同月比101.1%であった。品目別では、季節的需要増等により「その他の石油製品」、「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。また、建設関連の需要増により「木材」、「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「穀物」、「化学薬品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比101.2%、対前年同月比98.4%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「穀物」、「野菜・果物」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比99.4%、対前年同月比108.3%であった。品目別では、季節的需要増等により「機械」、「揮発油」が、建築関連の需要増等により「非鉄金属」、「その他の窯業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「穀物」が、輸出入貨物の減等により「食料工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月は増加傾向、以降については減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比98.9%、対前年同月比97.7%であった。品目別では、倉庫への入出庫増により「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入貨物の減等により「金属製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比101.3%、対前年同月比95.5%であった。品目別では、生産調整の解消により「機械」が、季節的需要増等により「その他の製造工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減により「その他の窯業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比100.7%、対前年同月比101.9%であった。品目別では、建設関連の需要増により、「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地の需要減等により「紙・パルプ」、「食料工業品」が、建設関連の需要減等により「鉄鋼」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降については減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比102.3%、対前年同月比98.3%であった。品目別では、季節的需要増等により「野菜・果物」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。一方、デパート・スーパーの貨物減により「水産品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降については減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比102.6%、対前年同月比102.7%であった。品目別では、季節的需要増等により「野菜・果物」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「その他の窯業品」が、工場・生産地からの貨物減等により「その他の石油製品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したとする事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降については減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比102.3%、対前年同月比100.3%であった。品目別では、建設関連の需要増により「鉄鋼」、「金属製品」が、商社・問屋からの貨物増により「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「食料工業品」、「取り合わせ品」が、輸出入貨物の減により「金属くず」、「その他のくずもの」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	1	2					1		2		6
	減	3	6	1	2					1		13
2. 野菜・果物	増	2	3					1	4	4		14
	減	3	3	1		1				3		11
3. その他の農産品	増	5								1	1	7
	減	2						1			1	4
4. 畜産品	増									1		1
	減	1						1		1		3
5. 水産品	増	1	1		1							3
	減	3							1			4
6. 木材	増	1	2								1	4
	減	1			1			1	2			5
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増											
	減	2										2
9. 金属鉱物	増				1					1		2
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	4	2					3		4		13
	減	5	1		1					2		9
11. 工業用非金属鉱物	増		1						1	1		3
	減	1	1					1				3
12. 鉄鋼	増			1	1				2	3	1	8
	減	1	1					2		4		8
13. 非鉄金属	増				2							2
	減							2				2
14. 金属製品	増		1					1		1	1	4
	減		1			2	1			1		5
15. 機械	増	1	2		5	2	2	1		2	1	16
	減		3	1	1	1		2		1		9
16. セメント	増		1		1			1		3		6
	減	4	2					1		2		9
17. その他の窯業品	増	2	1		3			1				7
	減						1			2		3

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増	1	1	1	2							5
	減											
19.その他の石油製品	増	6	2		2		1					11
	減				1		1			2		4
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減											
21.化 学 薬 品	増	1										1
	減		2					1				3
22.化 学 肥 料	増				1							1
	減									1		1
23.その他の化学工業品	増				1			1		2		4
	減											
24.紙 ・ パ ル プ	増		1		1	1	1	1	1	3		9
	減	1					1	3	1	1	1	8
25.織 維 工 業 品	増					1			1			2
	減											
26.食 料 工 業 品	増		3	1	1		2	1	1	2		11
	減	1	1		3		2	4	1	2	1	15
27.日 用 品	増	2						1		2	1	6
	減	2	1	1						1		5
28.その他の製造工業品	増			1			2			1		4
	減			1			1			3		5
29.金 属 く ず	増											
	減									1	1	2
30.その他のくずもの	増						1					1
	減										1	1
31.動植物性飼・肥料	増	1	1						1	1		4
	減	3	2	2						1		8
32.廃 棄 物	増	1	1							1		3
	減		1							1		2
33.輸 送 用 容 器	増				1					2	1	4
	減							1	1	1		3
34.取 り 合 せ 品	増											
	減	1	1	1				2			1	6
35.そ の 他	増	1	2	3	3	1	3	7				20
	減			1	2	1	1	2		1		8